

【規範意識を育む指導の工夫】

○子どもから見た規範の四つの側面と規範意識を育む指導

規範の四つの側面		規範意識を育む指導
教えられる規範	ある規範について知らなかったり、重要であるという認識がなかったりすれば、規範として成り立たない。そのため、教師が教えることも必要になる。	「教師が教える規範」の指導
気づきつくる規範	規範意識を育んでいくためには、与えられるだけでなく、規範について自分たちで考える経験が必要になる。	
つくり直す規範	きまりや約束は、必要がなくなったり、逆に不都合が生じたりする場合がある。変えられることを前提としておくことで、よりよい規範に変えていこうという意識をもたせることが必要である。	「子どもが気づく規範」の指導
実践する規範	規範を守って行動することで、その規範の良さや大切さを実感していくことが必要である。	「規範の大切さを感じる活動」の指導

○教師が教える規範 発達段階に応じた規範意識育成重点項目

	低学年	中学年	高学年
約束やきまり	約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にする。	約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。	公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら義務を果たす。
挨拶と返事	日常生活に必要な挨拶や返事はきはきと気持ちよくする。	だれに対しても、心のこもった挨拶や返事をする。	相手を尊重する気持ちを大切に、時と場をわきまえた挨拶や返事をする。
話を聞く	聞く姿勢をつくり、最後まで聞く。	相手の気持ちを考えて、相手と話しやすい態度で聞く。	相手の思いを汲みながら、共感的な態度で聞く。
言葉の遣い方	尋ねられたことや、相手の話の内容を受けてはっきり話す。	相手に応じて、わかりやすく、いねいな言葉を使って話す。	時と場をわきまえ、相手を尊重し、正しい言葉遣いで話す。
思いやり	身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。	相手のことを思いやり、進んで親切にする。	だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。
助け合い	友達と仲良くし、助け合う。	友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。	互いに信頼し、学びあって友情を深め、男女仲良く協力する。
感謝の気持ち	日ごろ世話になっている人々に感謝する。	生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。	日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。

参考文献 文部科学省『小学校学習指導要領解説道徳編』
文部省「小学校における基本的生活習慣の指導」
文部科学省『小学校学習指導要領解説国語編』